

「みえ県議会だより」はデータ放送でもご覧になれます。(三重テレビ7ch+dボタン)

新規投資を行いやすい
土壌汚染対策に関する条例の運用を

石田 成生 議員
(自民みらい/四日市市選出)



問

事業者には、**③有害物質**使用特定施設の廃止時等の土壌汚染調査実施義務や土壌汚染発見時の県への届出義務があります。届出があると県は内容を公表し、事業者は土壌汚染対策を行います。この対策費用は多くの場合、膨大となります。そこで、法や条例の趣旨を緩めることなく、事業者が新規投資を行いやすく条例を運用すべきと考えますが、いかがですか。

答

条例に基づく土壌汚染調査は、一定の場合を除き簡易な調査となっており、土壌汚染対策も合理的で適切な対策が選択されるよう指導しています。届出内容の公表は、地下水汚染を伴わない土壌汚染だけの場合等には慎重な対応が求められるとの県環境審議会答申の考え方も踏まえ、適切に対応していきます。



その他の質問事項
○「死因究明等推進計画」について
ほか

④みえの育児男子
プロジェクトの促進を

下野 幸助 議員
(新政みえ/鈴鹿市選出)



問

県内企業の99・8%を占める中小企業・小規模企業では、雇用者の86・3%（約42万人）が働いており、そこで働く男性に育児の重要性を理解していただくための普及活動を行っていただきたいと思



ますが、いかがですか。また、広報啓発活動を今年度から積極的に行っていますが、このような取り組みを中小企業・小規模企業を中心に行うべきと考えますが、いかがですか。

答

県内の中小企業を対象に、企業の合計特殊出生率調査である「三重県企業子宝率調査」を実施し、子育てに優しい取り組みの優良事例を表彰、広く公表・発信するなど、県内企業の大部分を占める中小企業に対して、しっかりと応援ができるように取り組んでいきます。

その他の質問事項
○非正規雇用対策について
ほか

神湯館の存続と
神原温泉の振興

前野 和美 議員
(自民みらい/津市選出)



問

神原温泉はこれまで神湯館を中心に温泉観光地として発展してきましたが、この不況により大変厳しい状況にあります。このような中、現在、経済組合の保養所として運営されている神湯館について、採算が取れないことを理由に売却の話が出ています。苦境に立たされている神原温泉の復興のためにも神湯館についてはぜひ存続すべきと考えますが、いかがですか。

答

神湯館の運営については、これまで相当努力してきましたが、今後多額の改修費が必要となることもあり、先般、議会に説明した方針から、基本的には変わりませんが、今後も共済組合として何ができるかができないのかなど慎重に検討します。なお、神原温泉全体のパRをしつかり行うことには変更ありません。



その他の質問事項
○台風11号に関連した地域の課題
ほか

アルコール健康障害対策
基本法の制定を受けて

田中 智也 議員
(新政みえ/四日市市選出)



問

アルコール健康障害対策基本法が昨年12月に成立しました。アルコール依存症患者は、本人もその家族も大変苦しんでいます。国では、専門医や患者本人とその家族等を構成員とする関係者会議を作り、アルコール健康障害対策推進基本計画を策定中ですが、県としては、法の制定を受けて、その周知も含め、今後どのように取り組んでいくのか、お伺いします。



答

県では、法の主旨やアルコール関連問題について関心を高め、理解を深めてもらうために、11月に県民や関係者を対象とした講演会の開催を予定しています。また、国の計画策定を受け、医療計画等との整合に留意し、関係機関や事業者等の意見も聴きながら、県計画を策定していきたいと考えています。

その他の質問事項
○こども心身発達医療センター(仮称)による地域支援について
ほか